

士別市民憲章

わたくしたちは、天塩川の源流にはぐくまれた士別市民です。
屯田の開拓精神をうけつぎ、人と大地が躍動するすこやかな
まちをつくるため、この憲章を掲げ実践に努めます。

1. 自然を愛し 美しいまちをつくります
1. 人を愛し 心ゆたかな文化のまちをつくります
1. しごとを愛し 活みなぎるまちをつくります
1. スポーツを愛し 元気なまちをつくります
1. 夢を語り 未来に広がる明るいまちをつくります

平成17(2005)年10月14日制定



市の木
アカエゾマツ



市の木
ナナカマド



市の花
コスモス



市の花
エゾノリュウキンカ



市の花
エゾムラサキツツジ

しべつ
市のまち

Shibetsu City

天塩の流れとともに
人と大地が躍動する
すこやかなまち

ダイジェスト版

2026~
2033
年度

第2次士別市 まちづくり総合計画 ダイジェスト版

「みんなで描く共創の未来」

第2次士別市まちづくり総合計画 ダイジェスト版
2026▶2033年度



士別市HP

発行/令和8年(2026)年4月 編集/士別市総務部総合政策課

UD FONT
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています

市長挨拶



市民の皆様には、平素より市政の推進に対し多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、本市の将来に向けた確かな指針となる「第2次士別市まちづくり総合計画」を、多くの皆様の意見を伺いながら策定いたしました。本計画は、私たちがめざすべき都市像と、その実現に向けた具体的な施策を体系的にまとめたものであり、これからの市政運営の最上位計画となるものです。

現在、私たちは大きな時代の転換期の中にいます。急速に進行する人口減少や少子高齢化など、社会構造の変化により地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした困難な局面を打破し、次世代へ豊かな郷土を繋いでいくためには、従来の延長線上ではない、新たな視点による挑戦が不可欠です。

本計画において、最優先で取り組むべき柱の一つが「地方経済の活性化」です。本市の基幹産業である農業のさらなる高付加価値化や、地場企業の振興、起業支援を通じ、地域内で経済が循環する仕組みを強化します。若者が希望を持って働き、安心して家庭を築ける環境を整えることで、地域の活力を増進してまいります。

また、移住定住の促進に努めるだけでなく、本市と多様に関わる「関係人口の拡大」に注力いたします。「羊のまち士別」や「合宿の里」といった本市独自のブランドを磨き上げ、観光以上・移住未満のつながりを持つ人々を増やすことで、外からの新しい知恵や活力を地域課題の解決や新たな価値創造へと繋げてまいります。

これらの取り組みの先にあるのが、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「持続的なまちづくり」の実現です。デジタル技術の活用による行政サービスの利便性向上や、脱炭素社会に向けた環境施策、そして何より市民一人ひとりが主役となる共創のまちづくりを推進し、時代の変化に揺るがない、柔らかさと強さを兼ね備えた士別市を築いてまいります。

基本理念に定めた「**地域力**」で進める**幸福なまちづくり**の実現に向け、私は先頭に立って全力で取り組む決意です。市民の皆様におかれましても、**住んでいて幸せを感じられるまちづくり**に、一層のご支援とご参画を賜りますようお願い申し上げます。

令和8(2026)年3月
士別市長

渡辺英次

INDEX

第2次士別市まちづくり総合計画

- P01 市長挨拶
- P02 士別市の概況
- P03 計画の構成
- P04 めざす都市像・基本理念
- P05 人口ビジョン
- P06 第2次士別市まちづくり総合計画の構成について
- P07 第2次士別市まちづくり総合計画体系図

第2次士別市まちづくり総合計画をわかりやすくご紹介!

計画を紹介するアニメーション動画です!

アニメーション動画

計画策定の協議経過をまとめました!

総合計画の策定経過

士別市の最新情報はこちらから!

士別市 facebook

士別市の概況

1. 位置・地勢

本市は、北海道北部の中央に位置し、道立自然公園「天塩岳」をはじめとする山々に囲まれ、北海道第2の大河「天塩川」の源流域にある水と緑豊かな田園都市です。

本市には、JR宗谷本線や北海道縦貫自動車道をはじめ、国道や主要道道が接続しているなど、周辺都市とのネットワークは良好な条件にあり、北海道の中心都市である札幌市までは、車で約2時間半、JRでは約2時間でアクセスできます。

その市域は、東西に58km、南北に42kmに広がり、行政面積は1,119.22km²を有していますが、その約74%を山林が占めています。

気候は、上川北部の盆地にあるため、四季の変化がはっきりとした内陸性気候で、5月から9月上旬までは比較的高温多照に恵まれますが、気温の日較差が大きく、年較差も大きなものとなっています。

また、11月中旬から降り始め、まちを約半年にわたって白く覆う雪は、平地でも1m、山間部では2mを超えるなど、積雪寒冷な豪雪地帯でもあります。

なお、気象庁のデータによれば2025年の最高気温は34.3℃、最低気温は-21.2℃で、年間平均気温は5.5℃となっており、年間日照時間は1,483時間、降水量は1,340mmとなっています。

2. 沿革

本市開拓の歴史は、天塩川流域の豊富な水と肥沃な大地や緑の山々など、豊かな自然に恵まれるなかで、屯田兵の入植や御料地の貸下げなどを背景に、先人たちの開拓精神とたゆまぬ努力のもとで、農林業を基幹産業として発展してきました。

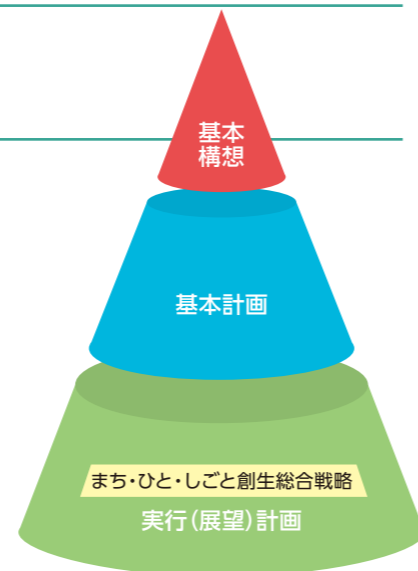
明治32(1899)年に、最北で最後の屯田兵の入植によって開拓の跡がおろされた旧「士別市」は、昭和29(1954)年に当時の士別町・上士別村・多寄村・温根別村の1町3村が合併し、道内20番目の市として誕生しました。

一方、明治38(1905)年の御料地貸下げによって開拓の歴史が始まった旧「朝日町」は、昭和24(1949)年に上士別村から分村独立し、昭和37(1962)年に町制を施行しました。

現在の「士別市」は、平成17(2005)年に、旧「士別市」と旧「朝日町」が合併して誕生しました。



計画の構成



1. 計画の根拠

この計画は、「士別市まちづくり基本条例」の規定に基づく総合計画です。

2. 計画の名称

この計画の名称は、「第2次士別市まちづくり総合計画」とします。

3. 計画の構成

この計画は、「基本構想」「基本計画」「実行計画(展望計画)」をもって構成します。また、「士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含します。

▶ 基本構想は、将来に向けて、本市がめざす総合的かつ計画的なまちづくりの基本理念などを示すものです。2050年を見据えた長期ビジョンとしての「地域のありたい姿」及び「新・人口ビジョン」を達成するために必要な施策の大綱を明らかにするものです。

▶ 基本計画は、基本構想で定めた施策の大綱を実現するための基本施策を体系的に明らかにするものです。

▶ 実行計画(展望計画)は、基本計画に掲げる基本施策に基づき、具体的な事業計画を体系づけて定めます。また、重点プロジェクト及び市長施策の目標達成に資する取り組みを反映させた短期的な計画とします。

▶ 士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、国が人口減少と地方の衰退という大きな課題に対処するために策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえて、本市が独自に策定した地方創生のための中長期的な計画です。現在の「第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間は2026年度までですが、今回の総合計画の策定に合わせて計画期間を1年前倒しするとともに、新たなKPI、KGI指標を定めたいうえで、本計画に包含します。

4. 計画の期間

▶ この計画の期間は、2026年度を初年度に、2033年度までの8年間とします。

なお、実行計画(展望計画)は、前期4年を「実行計画」、後期4年を「展望計画」とし、市長任期と連動させた計画とします。

めざす都市像

本市は、恵まれた自然環境という大きな地域資源のもとに、先人たちのたくましい開拓の精神を受け継ぎ発展してきました。特に、北海道第2の長流を誇る朔北の大河「天塩川」の源流域に位置する本市にとって、この広大かつ貴重な資源を大切にしながら、すべての市民が元気でいきいきと、そして安全・安心な生活を送ることができるまちを築いていくことを目標として、本市のめざす都市像を次のとおり定めます。

「天塩の流れとともに 人と大地が躍動する すこやかなまち」

めざす都市像は、旧士別市・旧朝日町の合併の際に策定した「新市建設計画」、平成20(2008)年度に策定した「士別市総合計画」で掲げた将来像を引き継ぐこととします。



基本理念



まちづくりにあたっての基本理念は、

「地域力」で進める 幸福なまちづくり



とします。

市民・議会・行政は、それぞれの役割を果たすとともに、相互の理解と連携により、住む人が幸せを感じられるまちづくりを「地域力」を活用して進めます。

「地域力」については前計画を踏襲し、「市民(人の力)」「連携(輪の力)」「地域資源(地の力)」「コミュニティ(地区の力)」「交流(絆の力)」から構成され、地域社会が抱える課題をそこに住む人々が主体的に解決し、より良い地域を創造していくための総合的な力と定義します。



人口ビジョン

1. 将来人口の推計の役割

将来人口の推計は、都市機能などの生活環境や産業・経済の基盤などの立案に際し、将来の本市のあり方を考える指標となるものです。

2. 将来人口の算定について

第2次士別市まちづくり総合計画の計画期間である2033年の推計人口に、交流人口を加えて将来人口(想定人口)とします。

$$\text{推計人口} + \text{交流人口} = \text{将来人口 (想定人口)}$$

「新・人口ビジョン」の目標人口	2033年(第2次総合計画最終年) 13,200人	2050年(新・人口ビジョン最終年) 8,600人
-----------------	----------------------------------	----------------------------------

交流人口について これまでと同様に、観光入込客数をベースに今後の施策効果を考慮して試算しています。

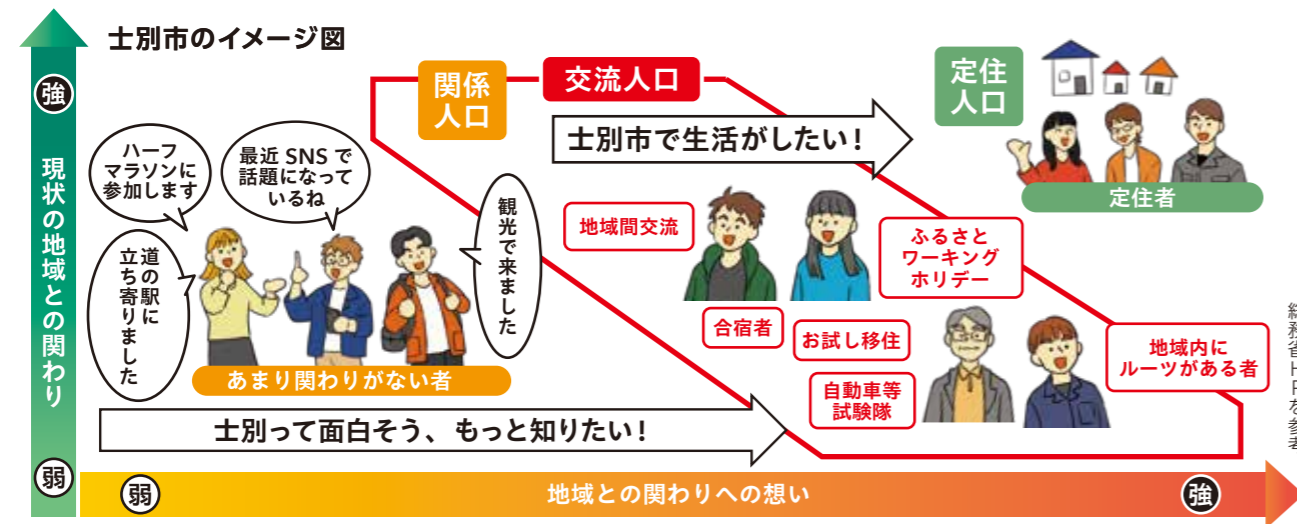
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2033年度
1 ① 観光入込客数	290,000	616,078	586,009	560,428	520,497	540,000
1日平均 ①÷365日	700	1,600	1,600	1,500	1,400	1,400

(単位:人)

士別市まちづくり総合計画における2033年の将来人口(想定人口)

13,200人+1,400人=14,600人

3. 関係人口について



総務省HPを参考

関係人口の目標人数

(単位:人 ※①~③は年間延べ人数。④は今後関係人口を見える化した場合の登録者数)

	①地域間交流 (姉妹都市・友好都市等)	②産業 (自動車等 試験研究)	③産業 (合宿・大会 参加者等)	④ふるさと 住民登録制度※	合計
2033年度	200	22,000	25,500	1,000	48,700

「関係人口」は「交流人口」の一部という側面もあるため、これまでと同様に各種PR活動による本市の認知度向上を図りつつ、観光客やイベント参加者などの「交流人口」を増やすとともに、移住体験ツアーやお試し移住、ふるさとワーキングホリデーや現在、国が検討を進めている「ふるさと住民登録制度」などを活用し「交流人口」から「関係人口」への深化に繋げていくことで、将来的な定住人口の増加が期待できます。

また、定期的に本市を訪れる「自動車等試験隊」と「合宿者」は、この間の施策の効果により地域と良好な関係を築いており、市民との交流も積極的に行っていることなどから、本市における最大の関係人口と位置付け、引き続き企業誘致や合宿の招致活動に取り組むことで、関係人口の増加に努めます。

第2次士別市 まちづくり総合計画の 構成について

計画期間の考え方



2050年に幸福なまちづくりを引き継ぐ

基本構想について

「めざす都市像」「基本理念」「ありたい姿(士別らしさ、人口ビジョンの長期目標)は、2050年(25年後)を見据えた長期ビジョンと位置付けます。

めざす都市像

天塩の流れとともに
人と大地が躍動するすこやかなまち

基本理念

「地域力」で進める
幸福なまちづくり



ありたい姿は……

士別らしさ

人口ビジョン

短期目標
国の推計を上回る
2033年
13,200人を維持

長期目標
国の推計を上回る
2050年
8,600人を維持

基本目標

- 健やかに
安心して
暮らせる
まちづくり
- 元気で
いきがいの持てる
まちづくり
- 未来を育む
心豊かな
まちづくり
- 地域の魅力で
にぎわう
まちづくり
- 持続可能で
住みよい
まちづくり

第2次士別市 まちづくり 総合計画 体系図

士別市がめざす
都市像へ向かって…
スタート!

個別事業や 市長政策



総合戦略プロジェクト、各分野計画に基づく事業などを計画

実行(展望)計画

- **農業の 未らい共創** 持続可能な生産基盤の確立、担い手の育成・確保、多様で安定的な経営体の育成、魅力ある農村づくりほか
- **合宿 の聖地共創** 合宿受入態勢の強化と招致活動の充実、生涯スポーツの推進、スポーツイベントの充実ほか
- **未らい の士別共創** コンパクトタウンの推進、まちなか拠点整備による賑わい創出、移住定住の促進、子育て支援の充実ほか

- ・医療体制の充実
- ・地域福祉の推進
- ・高齢者福祉の推進
- ・障がい福祉の推進
- ・保健・健康づくりの推進
- ・安全・安心なまちづくり
- ・人権の尊重と男女共同参画



- ・社会教育の充実
- ・文化・芸術の振興
- ・スポーツの振興



- ・子ども・子育て支援の充実
- ・学校教育の充実
- ・高校教育の充実
(東高校・翔雲高校)



- ・農業の振興
- ・林業の振興
- ・観光の振興
- ・商業・工業の支援
- ・雇用・勤労者福祉の充実
- ・移住定住の促進と
関係人口の創出
- ・地域間交流の促進
- ・合宿の充実
- ・企業誘致の強化促進
- ・市民活動・地域づくり
への支援



- ・持続可能な公共交通
- ・環境保全とゼロカーボン
- ・都市景観の形成
- ・公園緑地の整備
- ・治水対策の推進
- ・道路環境の整備
- ・住環境の整備
- ・上下水道の安定供給と
下水道の管理運営
- ・ごみの減量化・リサイクルの推進
- ・防災対策
- ・消防・救急体制の充実
- ・ICT・DX・情報通信の充実



士別市がめざすまちづくりへ……
基本計画

基本施策

基本構想

基本目標 1
健やかに
安心して
暮らせる
まちづくり

基本目標 2
元気で
いきがいの
持てる
まちづくり

基本目標 3
未来を育む
心豊かな
まちづくり

基本目標 4
地域の魅力で
にぎわう
まちづくり

基本目標 5
持続可能で
住みよい
まちづくり

次のページへ!

事業や基本施策をもとに基本目標を達成すると…**士別市の ありがたい姿**(次代へ引き継ぐ市の財産特色)へ!

2050年に士別市のありたい姿を描くと？

基本構想

長期ビジョン



ありたい姿

士別らしさで豊かに

雄大な
スポー

自然、大地の恵みは次代へ。サフォーク羊を顔にしたまちづくり。
ツや技術で関係人口創出へ！



天塩川



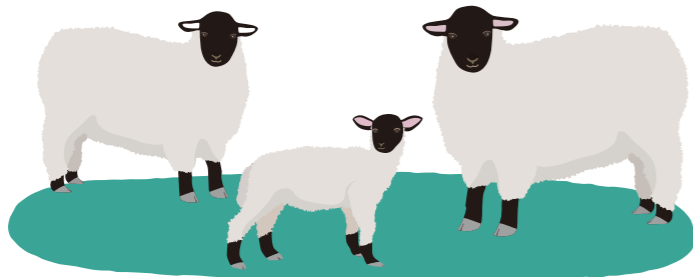
農業



健康スポーツ



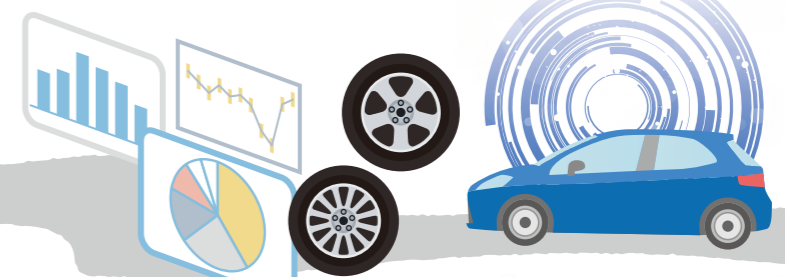
羊



合宿



自動車等試験研究



ありたい姿 人口ビジョン

[短期目標] 2033年13,200人

長期目標 2050年 8,600人



まちづくりの基本 理念

「地域力」で進める幸 福なまちづくり

住む人が幸せを感じ られるまちへ



ゴール!

士別市の
めざす
都市像へ!

天塩の流れとともに
人と大地が躍動する
すこやかなまち

